

SUPER 11 ② 語彙に強くなる特別ゼミ

【1】接頭辞問題(1～2)

(1) 接頭辞 re- の表す意味として最も適切なものを①～④から 1 つ選びなさい。
()

① 下へ ② 再び ③ 外へ ④ 共に

(2) 接頭辞 inter- の表す意味として最も適切なものを①～④から 1 つ選びなさい。
()

① 間に・相互に ② 下に ③ 中へ ④ 上へ

【2】語尾・品詞問題(3～4)

(3) -tion で終わる語の品詞は何か。()

例:information, education, invention, communication, production

(4) -able で終わる語の品詞は何か。()

例:readable, usable, acceptable, portable, comfortable

【3】語源問題(5～9)

(5) 語源 ama / am の表す意味を①～④から 1 つ選びなさい。()

① 愛する ② 恐れる ③ 作る ④ 見る

(6) 語源 fer の表す意味を①～④から 1 つ選びなさい。()

① 運ぶ ② 見る ③ 書く ④ 置く

(7) 語源 pel / pul の表す意味を①～④から 1 つ選びなさい。()

① 引く ② 押す ③ 保つ ④ 回る

(8) 語源 vent / ven の表す意味を①～④から 1 つ選びなさい。()

① 来る ② 行く ③ 切る ④ 聞く

(9) 語源 grad / gress の表す意味を①～④から 1 つ選びなさい。()

① 投げる ② 歩く・進む ③ 数える ④ 作る

【4】多義語・品詞問題(10～11)

(10) before の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

before()()()

(11) after の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

after()()()

解答

(1) ② 再び (2) ① 間に・相互に (3)
名詞 (4) 形容詞 (5) ① 愛する (6)
① 運ぶ (7) ② 押す (8) ① 来る (9)
② 歩く・進む (10) 副詞・前置詞・接続
詞 (11) 副詞・前置詞・接続詞

解答解説

re- : ② 再び・反対に・戻して

revenge



解説: re- は主に
「再び」「元に戻っ
て」を表す接頭辞
だが、語によっ
ては「反対に」「返し

て」「やり返して」という意味も表す。

return[ritʉ:n]「戻る」= re(再び・戻っ
て) + turn(回る) → 元に戻る /
rebuild[rì:bíld]「再建する」= re(再
び) + build(建てる) → 再び建てる /
rewrite[rì:ráit]「書き直す」= re(再
び) + write(書く) → 再び書く /
recover[rikávə]「回復する」= re(元
に戻って) + cover → 元の状態に戻る
/ renew[rinjú:]「更新する」= re(再
び) + new(新しい) → 新しくし直す /
reproduce[rì:prədjú:s]「再生する」=
re(再び) + produce(生み出す) → 再
び生み出す / refund[rí:fʌnd]「返金
する」= re(戻して) + fund(金) → お金
を戻す / reply[riplái]「返事をする」
= re(返して) + ply(折る・向ける) →
言葉を返す / revenge[rivéndʒ]「復
讐する」= re(返して) + venge(罰す
る) → やり返す / rebuke[ribjú:k]
「叱責する」= re(反対に) + buke →
相手に向かって強く言い返す /
reproach[ripróútʃ]「非難する」= re
(反対に・返して) + proach → 相手に向
けて責め返す / refute[rifjú:t]「論駁

する」= re(反対に) + fute → 相手の
主張に反対して打ち消す。re- の中心イメ
ージは「戻る・返す」であり、そこから「再び」
「返金する」「返事をする」「やり返す」「反対
する」へ広がる。

(2) inter- : ① 間に・相互に

解説: inter- は
「間に」「相互に」を
表す接頭辞。

inter- : ① 間
に・相互に

解説: inter- は

between「～の間に」、among「～の間
で」、each other「互いに」を表す接頭
辞。2 つ以上のものの「間」や「相互関係」
を表す。

international[ɪntənæʃənəl]「国際的
な」= 国と国の間の / interaction
[ɪntərækʃən]「相互作用」= 相互に作
用すること / internet[ɪntənèt]「イン
ターネット」= 網と網の間を結ぶもの /
interpersonal[ɪntəpé:sənəl]「対人
関係の」= 人と人との間の / intercity
[ɪntəsíti]「都市間の」= 都市と都市の間
の / interchange[ɪntətʃéindʒ]「交
換する」= お互いに取り替える /
intercourse[ɪntərkò:rs]「交流・交際・
意思疎通」= 人と人との間で行われるや
り取り / interconnect
[ɪntərkənékt]「相互に接続する」= お
互いをつなぐ / interdependent
[ɪntərdipéndənt]「相互依存の」= お
互いに頼り合う / intermediate
[ɪntərmí:diət]「中間の」= 2 つのもの
の間にある。語源の中心は「間に・相互に」
である。
である。

interchange



(3) -tion : 名詞

解説:-tion は「行為」「状態」「結果」を表す名詞語尾。

information[ɪnfəmeɪʃən]「情報」／
education[ədʒukේʃən]「教育」／
invention[ɪnvénʃən]「発明」／
communication[kəmʒù:níkේʃən]「伝達」／
production[prədákʃən]「生産」／
discussion[diskáfən]「議論」／
collection[kələékʃən]「収集」。
-tion = 名詞は最重要語尾の一つである。

(4) -able : 形容詞

able

可能を表す



～することができる
(能力・可能)

受け身を表す



～される
(～することができる状態)

解説:-able は「～できる」「～可能な」を表す形容詞語尾。

readable

[rí:dəbl]「読みやすい」／ usable
[jú:zəbl]「使用できる」／ acceptable
[əkséptəbl]「受け入れられる」／
portable[pó:təbl]「持ち運びできる」／
comfortable[kámftəbl]「快適な」／
understandable[ʌndəstændəbl]「理解できる」／
reliable[riláiəbl]「信頼できる」。
-able = 形容詞と判断できる。

(5) ama / am : ① 愛する

amiable



解説:ama / am は love「愛する・好む」を表す語源。

amateur

[æmətə]「アマチュア・愛好家」= amat(愛する) + eur

→ そのことを愛して行う人 / amiable
[éimiəbl]「愛想のよい」= ami(愛する) + able → 愛されやすい / amicable
[æmikəbl]「友好的な」= am(愛する)

+ able → 愛情をもって接する /
enamor[ɪnæmə]「夢中にさせる」= en(～の状態にする) + amor(愛) → 愛に落とす /
amorous[æməərəs]「恋愛の」= amor(愛) + ous → 愛に満ちた /
amity[æməti]「友好」= am(愛する) + ity → 愛情ある関係。すべて「愛する・好む」のイメージで説明できる。

(6) fer : ① 運ぶ

解説:fer は carry「運ぶ」を表す語源。
transfer[trænsfə:]「移す」= 越えて運ぶ /
refer[rifə:]「言及する」= 話題を運ぶ /
offer[ófə]「申し出る」= 前へ運ぶ /
prefer[prifə:]「好む」= 前に運ぶ /
confer[kənfə:]「相談する」= 共に運ぶ

/ fertile

[fə:tail]「肥沃な」= 実りを運ぶ。語源の核は「運ぶ」である。



(7) pel / pul : ② 押す



解説:pel / pul は push「押す」を表す語源。

expel[ɪkspél]

「追放する」= 外へ押し出す /

compel[kəmpél]「強制する」= 共に押す /
repel[ripél]「撃退する」= 押し返す /
propel

[prəpél]「推進する」= 前へ押す /
impulse[ɪmpʌls]「衝動」= 内から押す力 /
pulse[pʌls]「脈拍」= 押し出される鼓動。共通イメージは「押す」である。

(8) vent / ven : ① 来る

解説:vent / ven は come「来る」を表す語源。

invent[invént]「発明する」= 中へ来る
→ 思いつく / prevent[privént]「防

ぐ」= 前に来る → 先回りする /

event[ivént]「出来事」= 起こって来る
こと / venture[véntʃə]「冒険する」

= 前へ出て行く / convene

[kənví:n]「招集する」= 共に来させる

/ avenue[évenju:]「大通り」= 来る



ための道。語源の
中心は「来る」である。

(9) grad / gress :② 歩く・進む

解説:grad / gress は step「歩く・進む」を表す語源。

progress[prəugrés]「進歩する」= 前へ進む / graduate[grædzueit]「卒業する」= 段階を進み終える /

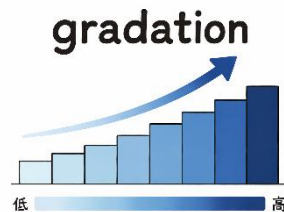
congress

[kóngres]「議会」= 共に歩み

寄る /

aggressive

[əgrésiv]「攻撃的な」= 前へ進む /



regress[rigrés]「後退する」= 後ろへ進む / degree[digrí:]「段階・程度」

= 一步一步の段階。すべて「進む」のイメージで理解できる。

(10) before :副詞・前置詞・接続詞

解説:before は副詞・前置詞・接続詞の3品詞で使われる。

I had seen her once before.(以前に一度彼女に会ったことがある)では副詞。

Before dinner, wash your hands.

(夕食前に手を洗いなさい)では前置詞。

Think before you speak.(話す前によく考えなさい)では接続詞。長文では品詞判別が重要である。

(11) after :副詞・前置詞・接続詞

解説:after は副詞・前置詞・接続詞の3品詞で使われる。

Soon after, it began to rain.(その直後に雨が降り始めた)では副詞。After school, I played tennis.(放課後にテニスをした)では前置詞。After he finished his homework, he went to bed.(宿題を終えた後で寝た)では接続詞。before と対になる重要多義語である。